

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第16報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年7月22日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンはクリプトモナスが最も多く、他に藍藻のアファノテーケや珪藻のメロシラなどが見られた。動物プランクトンは、ハネウデワムシ、カメノコウワムシが多く見られた。前年度の同時期と比較すると、プランクトン相は同様の傾向にあったが、その数は、植物プランクトン、動物プランクトンとも今回が多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	200

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis</i> var. <i>macracantha</i>	80

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年7月22日

第16報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	1		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	170		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	110		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	110		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	90		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	80		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	30		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	53		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	3		
(珪) <i>Synedra acus</i>	5		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	30		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	10		
(緑) <i>Planktosphaeria</i> sp.	160		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	7		
(藍) 藍藻綱	171	14.1	8.7
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	6.6	1.3
(珪) 珪藻綱	501	41.4	31.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.8	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	220	18.2	28.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	227	18.8	29.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1209	総体積 (μm^3)	1.20E+06
種類数	22		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。